

ブック村だより

本学コレクション紹介 (24)

古典派経済学の魅力…………… (2)

—当館「貴重図書コレクション」との出会い— 森岡 邦泰



ぶっくす・なう…………… (4)

『赤猫異聞』	谷岡 一郎
『小澤征爾さんと、音楽について話をする』	塩田 眞典
『黄金の日本史』	佐和 良作
『最後の海軍大将：井上成美』	下山 晃

学生選書コーナー 利用状況…………… (6)

データベース活用講座④ 「LexisNexis AS ONE」 …… (7)

インフォメーション・開館案内…………… (8)

古典派経済学の魅力

—当館「貴重図書コレクション」との出会い—

古典派経済学の魅力とは何であろうか。経済学は、経済学の父・アダム・スミスの『国富論』によって始まった。ということはそれ以前には経済学は単独の学問として成立していなかったことになる。アダム・スミスはグラスゴー大学の教授をしていた。では何を教えていたであろうか。アダム・スミス以前に経済学はないのだから、経済学という講座はまだ存在せず、経済学の教授であったことはあり得ない。実は、スミスは道徳哲学の担当教授であった。また法学講義も担当していた。ここに古典派経済学の魅力の秘密がある。

スミスの『国富論』には、狭義の経済理論だけでなく、そこには狩猟、牧畜、農業、商業へと人類が進化した四段階論として知られる文明論や多くの歴史叙述など、今日では理論経済学に入らない多くのさまざまな叙述が盛り込まれている。また分業の生産力上昇の例としてピン製造業の話など、実に生き生きとした叙述が魅力である。それはスミスが道徳哲学担当教授であり、また法学講義を担当していたことと無縁ではない。スミスは道徳哲学の分野では、『道徳感情論』を書いた。そしてこれを終生改訂し続けた。国富論を1776年に刊行し、名声を博した後も、5版（1781年）を出し、没年の1790年には最後に大幅に改訂した6版を出しているのである。つまりスミスにとって道徳哲学は、自己の学問の体系の重要な柱の一つであった。そして『国富論』に描かれた利己心に基づく人間像と、『道徳感情論』に描かれた共感に基づく人間像が違って見えるため、後にアダム・スミス問題と呼ばれる問題を引き起こした。このように人間のあり方そのものを考えるきっかけを

与えてくれるのが古典派経済学の魅力の一つなのである。

一方、法学講義はスミス本人の手によって活字化されることはなかったが、のちに学生ノートが発見されたので、その内容を知ることができる。そのうちのノートの一つ、いわゆるBノートは「法学、すなわちグラスゴー大学で行われた、道徳哲学教授アダム・スミスによる司法、生活行政、公収入および軍備に関する講義のノート」と題されているように、法学といっても狭義の法律学にとどまらず、広い範囲を覆っていたことがわかる。『国富論』は、この講義の主題の一つを拡張・発展させたものであった。

近年、学問の業績が積み重なるにつれて、どの分野でも専門の細分化が進んでいる。スミスの時代はまだ今日ほど学問の細分化が進んでいなかった時代だからこそ、広範囲の主題を扱っていたといえる。しかし、同時に細分化の反省として、いわゆる学際化の必要性も叫ばれている。古典派経済学はある意味、最初から学際化しているということもでき、それが魅力の一端をなしている。

また、そもそも古典派経済学は、大学の授業で通常講義されている経済学と必ずしも同じではない。スミスの『国富論』の冒頭の有名な書き出しは、次のようになっている。「国民の年々の労働は、その国民が年々消費する生活の必需品と便宜品のすべてを本来的に供給する源であって、この必需品と便宜品は、常に、労働の直接の産物であるか、またはその生産物によって他の国民から購入したものである。」のちにこのスミスの言説を引き継いだリカードは次のように述べた。「商品の中

には、その価値がその商品の希少性のみによって決定されるものがある。」それは「珍しい彫像や絵画、稀覯の書物や鋳貨、……特別な品質の葡萄酒」であって、「これらの物の価値は、その生産に最初必要であった労働量とはまったく無関係であり、それを所有したいと思っている人々の富と嗜好の変動に応じて変動する。だが、これらの商品は、市場で毎日交換される商品総量の中の、ごく小部分を占めているに過ぎない。欲求の対象となっている財貨の中の、きわだって大きな部分は、労働によって取得される。……そこで我々は常に、人間の勤労によってその量を増加することができる……商品だけを念頭におくことにする」（『経済学および課税の原理』第1章）と明言した。大学で講義される新古典派経済学は基本的に「珍しい彫像や絵画」のような商品を扱う競売を一般化したモデルなので、リカードの体系とは異なっている。いわば公理が違うのである。このように経済学はいろいろな体系があり、古典派経済学には通常の授業では現れないいろいろな考えを見ることができる。それは社会科学においては、同じ問題に対していろいろな答えがある、つまりいろいろな学説があるからである。そこが数学と違うところで、数学には説はない。正しいか間違っているか二つに一つなのである。同じ問題に違う答えが二つあるとしたら、どちらかが間違っているのである。しかし社会科学にはいろいろな学説、いろいろな見方が存在する。我々はそれらを古典派経済学の中に見て取ることができる。何か既存の学説に不満があれば、古典派経済学の書物をひもといてみると、何らかのヒントが得られるかもしれない。古典派経済学の魅力とはそうしたものだとう。

さて本学は貴重図書コレクションを備えている。他学でも何らかの貴重図書を備えているところはあり、それが大学のステータスになっている。ただどこでも事情は同じだが、実際の利用はかなり限られてくるだろう。たとえば本学はスミスの『国富論』を初版以降すべての版を所有しているが、実際に研究者が論文や研究書でページ数を示して引証するのは、オックスフォード大学出版から出ている全集版のほうである。研究書や論文で指示されている箇所を見ようと思ったら、本学が所蔵している各版は役に立たず、普通に本屋で売っている全集版を見るしかないのである。全集版には各版の異同等すべての情報が盛り込まれている。だからそれを見れば、各版の違いは一目瞭然でわかるのである。信頼できる全集版が世に出れば、それまでの各版はおおむね歴史的役割を終えたといえよう。ただしそれがいえるのは、主要作家で信頼できる全集版が刊行されている場合だけで、もっとマイナーで復刻版などが出ていない作家の場合は、元の刊本を見るしかない。また主要作家のその当時の翻訳本も入手可能なことは多くないので、資料的価値を保っている。本学コレクションには、さまざまな著作が含まれているので、そうしたニーズに応えることができるといえよう。さらに何らかの事情で既存の全集版によらない必要性をどこかの研究者が感じた場合、刊本といえども情報としての価値を失わない（最近ちくま文庫から出たデカルトの『省察』は、アダン・タヌリ版によらず、1642年の第2版に基づいているそう）。その意味で本学コレクションは未来に向かって価値を持ち続けているといえよう。

（経済学部 准教授 森岡 邦泰）

『赤猫異聞』

(新潮社, 2012.8)

浅田 次郎 著

一度拡がり始めると手のつけられない江戸の火事。「赤猫」とは今で言う放火犯の俗称ですが、それが転じて火事から囚人を逃がす「解き放ち」を意味します。むろん人道上の緊急の特別措置ですが、中には放ちにくい人々もおるわけです。

本書の主人公は三人の曰くつき囚人。ひとり死刑の決まった任使人（ヤクザ）、ひとり明治維新後も戦いをやめない剣客、すでに何人も切り殺しています。そしてもうひとは売春組織の大物女性です。「一人でも戻って来なければ残る全員死罪、三人とも戻れば全員無罪放免」という、解き放ちの条件が与えられますが、なんとなくゲームの理論（囚人のジレンマ）を想い出す人もいでしょう。さらに一人も帰らなかった時、三人の解き放ちを主

張した牢の管理者は、「腹を切る」ことも条件に加えられています。半分以上はフィクションでしょうが、時代背景などある程度事実をふまえたものであるがゆえにおもしろい。浅田次郎の得意とする点かと思います。

浅田次郎といえば、まず『蒼穹の昴』を紹介するのが筋かと思いますが、今さらという感もありました。そこへ氏の『天切り松闇かたり』シリーズをグレード・アップしたような新刊が出ましたので、あえてこちらを紹介することにしました。浅田次郎の中で五本の指には確実に入るおもしろさ。つまり必読ということです。

(学長 谷岡 一郎)



『小澤征爾さんと、音楽について話をする』

(新潮社, 2011.11)

小澤 征爾、村上 春樹 著

指揮者小澤征爾と作家村上春樹とでは世代もジャンルも異なるが、たぶん気質的にウマが合うのだろう。会話が気持ちよく弾み読者をノセてしまう。その中身は村上が問い小澤が答えるという音楽談義、ただしレコード（CD）を聴きながらという点がユニークである。曲目は村上が選び、その中には小澤だけではなく他の演奏家のものも含まれる。このような形式のため、自分や他者の演奏に対する小澤の率直な反応ぶりが読んで楽しめる。そこには、この指揮者にわれわれが抱いている一般的なイメージとは異なる側面も含まれており興味深い。

音楽に通ずる村上の的確な質問が小澤から高度な返答を引き出す。たとえば、グスタフ・マーラーの作品に含まれる前衛的要素は意識的に試み

られたものなのか？という村上の問いかけに、それは自覚的なものではなかろう、それが天才の証なのだよ、と答える小澤。ここにマーラーにアプローチするに際しての彼のスタンスをうかがい知ることができる。

とって本書が音楽通だけにその対象を限定しているわけではない。曲の聴き所を教えてくれるという意味ではクラシック音楽入門書としても、さらに小澤の海外での修業時代が面白く語られているという意味では人生論、教育論としても読める。私自身は必ずしも村上文学のよき読者ではないが、会話の中で村上が、文章作成上常日頃心がけ重視しているキモを吐露している所などもあり、当然村上文学のファンにもお勧めできることを最後に指摘しておく。

(経済学部 教授 塩田 真典)



『黄金の日本史』

(新潮新書, 2012.5)

加藤 廣 著

かつてわが国には多くの金山があり、大量の金が採掘されていた。本書によれば、その金がわが国の文化の進歩に大きな威力を発揮するとともに、金を求めての戦が繰り返されたという。

例をあげると、高校の日本史の教科書や参考書の空海に関する記述を見ると、「空海は唐で密教をきわめて帰国し、真言宗を開いたほか……」、「師に気に入られて、多くの経典、法具、曼陀羅などをいただいていた……」。空海の才能が評価されてのことであろうが、このような貴重なものをただでもらえたはずがないというのが本書の見方である。留学費用や師への謝礼などは莫大な金で支払われたに違いないという。

頼朝は弟義経を攻めて、平泉で討伐したが、これは東北の金山を義経が手に入れると、頼朝以上

の力を持つようになる
と恐れたからだとい
う。

こうしたこともあつて、日本は「黄金の国ジバング」として世界に知られるようになった。やがて、第2次世界大戦で日本が敗戦となり占領軍司令官マッカーサーが駐留したが、真っ先に部下を派遣して調査したのは日本銀行と日本橋の金商社田中貴金属で、日本にどのくらい金が残っているのかを調べるためであったという。豊富な金に恵まれた国であったが、国内の金・銀の交換比率が外国に比べてかけ離れていたため、幕末にかけて金は外国に大量に流出してしまったという。

今も昔も、何事も「金」次第ということである。

(経済学部 教授 佐和 良作)

『最後の海軍大将
：井上成美』

(文藝春秋, 1985.10)

宮野 澄 著

ぼくが大学生のとき、ゼミでお世話になって人生に決定的な影響を受けたS先生は海軍兵学校出身だった。その海軍兵学校でS先生在籍の少し前に校長を務めていたのが元・海軍大将だった井上成美である。

太平洋戦争期の海軍の指導者の伝記をこの書評で取り上げるのは、昨今の中国や韓国の奇妙な反日運動に呼応してのことでは、決して、無い。東北の大震災と原発事故発生以来、毎日50、60の関連サイトや関連書物を調べて「立派なリーダーのあるべき姿って、いったい、どんなもんかな？」といったことを集中して探索する内にたまたま、井上成美に行き着いたのである。(従って、「お前は軍人を礼賛するのか!」なんて、薄っぺらな議論はナシ、といふことをご了解を。)

人物の評価、とくに軍人だとか学者だとか政治家の人物評は往々にして、難しいモノになりがちである。しかし、そこは虚心坦懐、出来うる限りいろんな先入観や偏見、雑音を取り払って、時代環境との関わりの中かでしっかりとその人物の本質を読み取らなくてはならない。

井上は国粹主義や独伊との同盟には「三思三省の要」を唱えて徹頭徹尾反対、対米戦争が日本を破滅に追いやる事もキチンと見通していた。同時代には、井上は勝海舟の場合と同様、「破壊的な議論ばかりするヤツ」だとか「あんなヤツは切っ飛ばせ」と言われるほど敵も多かった。あほはなんで「敵」ばっか作るのか？ 崔基鎬『日韓併合』(祥伝社)なんかと一緒に読んで欲しい本です。

(総合経営学部 教授 下山 晃)



学生選書コーナー 利用状況



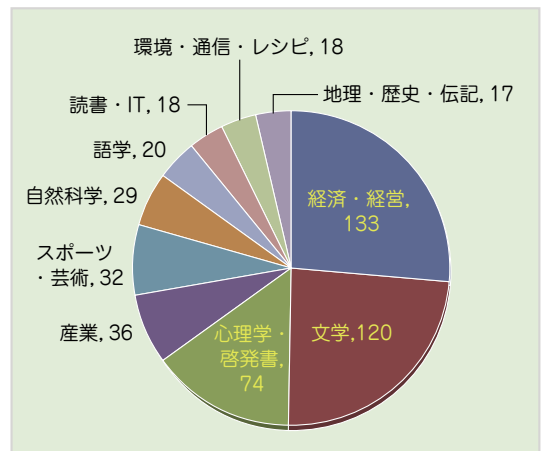
現在、当館の学生選書スタッフ登録者数は29名となりました。選書はおもに書店での「選書ツアー」や、「読書会」で行ない、2階フロア「学生選書コーナー」に配架しています。昨年は約2,250回の貸出（総貸出数の約1割）がありました。本年度上半期の貸出ランキングをお知らせします。

2012 上半期 学生選書コーナー貸出ランキング

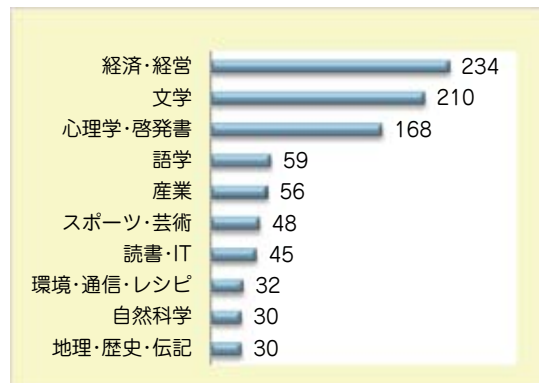
順位	書誌情報	貸出回数
1	どんな本でも大量に読める「速読」の本 / 宇都出雅巳 学部1・2年(4) 学部3・4年(4) 外部利用(1)	9
2	魔球 / 東野圭吾 学部1・2年(4) 学部3・4年(2) 職員(1)	7
2	お金が貯まらない人の悪い習慣39 / 田口智隆 学部1・2年(4) 学部3・4年(1) 外部利用(2)	7
2	人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。 ：20代で身につけたい本の読み方80 / 千田琢哉 学部1・2年(3) 学部3・4年(2) 外部利用(1) 職員(1)	7
2	アホ大学のバカ学生：グローバル人材と就活迷子のあいだ / 石渡嶺司, 山内大地 学部1・2年(3) 学部3・4年(4)	7
3	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら / 岩崎夏海 学部1・2年(3) 学部3・4年(2) 外部利用(1)	6
3	読んだら、きちんと自分の知識にする方法 / 宮口公寿 学部1・2年(1) 学部3・4年(2) 外部利用(3)	6
3	同級生 / 東野圭吾 学部1・2年(1) 学部3・4年(1) 外部利用(4)	6
3	死ぬまで仕事に困らないために20代で出逢っておきたい100の言葉 / 千田琢哉 学部1・2年(3) 外部利用(2) 職員(1)	6
3	あなたを天才にするスマートノート / 岡田斗司夫 学部1・2年(1) 学部3・4年(2) 外部利用(3)	6
3	思ったことの半分しか言えない人はこう話せ！ / 飯島孟 学部1・2年(1) 学部3・4年(1) 外部利用(4)	6
3	バカになれる人はバカじゃない / 小宮一慶 学部1・2年(1) 外部利用(5)	6
3	ゾンビの作法：もしもゾンビになったら / ジョン・オースティン：兼光ダニエル真訳 学部1・2年(4) 学部3・4年(2)	6
3	水の樞 / 道尾秀介 学部1・2年(1) 外部利用(2) 職員(3)	6
3	「やめること」からはじめなさい / 千田琢哉 学部3・4年(4) 外部利用(2)	6

ちなみに、このコーナーの分野構成・人気分野は右図の通りです。ほぼ蔵書数に比例していますが、特に語学（TOEICなど）がよく利用されています。

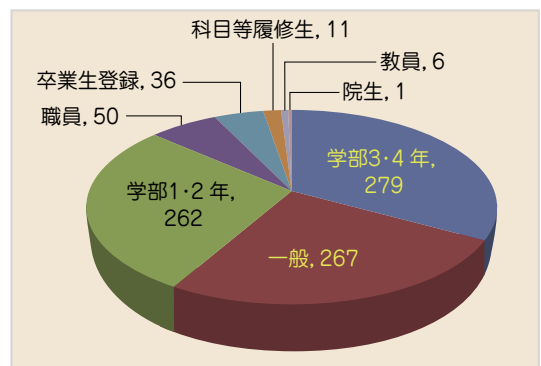
学生選書コーナーの構成



分野別貸出ランキング



コーナー利用者内訳



学生の利用が6割を占めますが、外部利用者にも多く利用されています。

選んで頂いた本は優先的に貸出できます。興味のある方は是非、図書館カウンターへお越し下さい。

データベース活用講座④

～ LexisNexis AS ONE ～

日本最大級の法情報データベース

「LexisNexis AS ONE」からは、

- ・大審院判例から戦後～現在に至る判例
- ・商業判例雑誌に掲載された判例、主要法律4誌の判例解説全文
- ・法律関連図書約2万冊、主要法律誌34誌の文献情報
- ・現行法令、法改正履歴、旧法令
- ・ビジネス重要判例

などが閲覧できます。

入り口：「大阪商業大学図書館」ホームページ
<http://www.lib.daishodai.ac.jp/> (学内のみ)



トップページ「**本学資料検索**(①)」より「**契約データベース**(②)」をクリックすると、データベース一覧が表示されます。

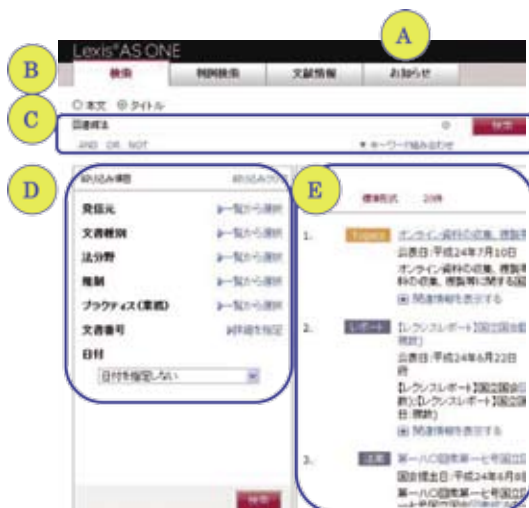


◎各種専門情報を探すの項にバナー(③)が表示されますので、クリックして下さい。

「LexisNexis AS ONE」トップページ



初期画面「キーワード検索」(全文横断検索)



- (A) お知らせをクリックすると、「最新トピックス」「最新の更新内容」「お役立ち情報」(マニュアル・収録概要・よくあるご質問)を見ることができます。
- (B) 検索対象をチェックします。
- (C) キーワードを入力します。「AND」、「OR」、「NOT」をクリックしてキーワードをつなげば、詳細な条件検索ができます。
- (D) 検索・検索結果は、各項目で絞り込んで検索することもできます。
- (E) 検索結果はこのエリアに表示されます。上部の標準形式をクリックすると、抜粋部分を含む標準形式と、含まないリスト形式を選択することができます。「法律」「基準」「判例」などのマークで種類を表示しています。
 関連情報を表示するをクリックすると、関連法案や新旧対照表を表示します。

図書館インフォメーション

◆特設展示「読書でまんぷく」「スキルアップ特集」

現在、好評を頂いているグルメ特集「読書でまんぷく」に引き続き、12月下旬より毎年好評を頂いている「スキルアップ特集」。「マナー編」「自己啓発編」など、さらにパワーアップした盛りだくさんの展示を行ないます。就活や社会生活にむけての準備に、日常生活のサポートに、是非ご活用ください。

◆卒業生（保護者・地域住民の方）も、図書館をご利用になれます

公的機関発行の身分証明書および写真（横3cm×縦4cm）、外部の方は利用登録料1,000円をご持参下さい。定められた範囲での閲覧・貸出・所蔵資料の複写が可能です。申込先は2F受付です。

◆平成24年度上半期に寄贈された本学教員著書は下記の通りです。

（教員名の50音順）※配架場所は2F「本学教員著書コーナー」です。貸出もできます。

【伊東 眞一 先生】 『入門金融取引』 晃洋書房, 1998.6. 【請求記号：338.1/H71】

【岩井 紀子 先生、佐々木 尚之 先生】

『Culture and values in East Asia. (アジア社会調査による日韓中台の比較;2)』
ナカニシヤ出版, 2012.3. 【請求記号：361.9/I93】

【笹本 長敬 先生】 『トロイルスとクリセイデ』：付・『アネリダとアルシーテ』

(ジェフリー・チョーサー作) 英宝社, 2012.3. 【請求記号：931/C36】

【佐和 良作 先生】 『金融破綻こうすれば逆転できる』 ダイアモンド社, 1998.6.

【請求記号：338.21/Sa93】

【谷岡 一郎 先生】 『知的遊戯の歴史』 大阪商業大学アミューズメント産業研究所, 2010.3.

【請求記号：790.2/Ta88】

【谷岡 一郎 先生】 『日本のギャンブル；公営・合法編』

大阪商業大学アミューズメント産業研究所, 2002.3. 【請求記号：368.6/Ta88】

【中津 孝司 先生】 『世界激変！指導者交代』 創成社, 2012.3. 【請求記号：312/N43】

【中津 孝司 先生】 『戦略的グローバリズムの企業経営』 創成社, 2012.7. 【請求記号：335.5/N43】

【山本 誠 先生】 『レクチャー財務会計』 中央経済社, 2012.2. 【請求記号：336.9/Y31】

開館案内

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●は休館日です。

●の6Fカウンター受付時間は10:00-17:00です。

上記以外にも臨時休館日进行する場合があります。

開館日程および時間は変更されることがあります。

詳細は学内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。